

会社は現場、現状実態の把握なし！

業務委員会で誠意のない回答に終始！！

《訓練(運転士)についての問題について・・・》

東海労の主張・・・

- 1, 毎月の訓練における「理解度確認」と称した試験はやめること
- 2, 訓練中に「個人把握」と称した試験はやめること
- 3, 訓練説明中に「個人把握」として試験で退席することにより、全体での訓練を受けない時間及びこの退席により訓練に集中できず、実質的な訓練となっていないこと

以上に対して

会社の回答・・・

- 1 についての回答・・・
「そのような考えはない。今後も必要な業務指導や理解度確認は行っていく」
- 2 についての回答・・・
「そのような考えはない。今後も現在行っている訓練形態や必要な業務指導等は行っていく」
- 3 についての回答・・・
「定例訓練は、5運輸所統一した方法で行っており問題はない」

「運転士に必要な知識」といいながらどんどん必要でないことまで範囲を広げ、しかも情報の出回り方では理解度確認の出来も違ってくるのは当然です。それにもかかわらず点数を単純に「評価」としている会社に問題があります。また、点数があるために評価されることに意識が行き、訓練に集中できない現状にあります。

さらに訓練を「個人把握」で退席する時間を会社は「5分～10分という認識」ですが、実際は退席前、待ち時間、訓練に戻ってからしばらくの間は訓練の流れについて行くことはできません。そのことについて**「資料を配っている。解らなければ聞きにきてもらえば良い」**と「点数第一」「教えること第二」としている会社の訓練方法は間違っています。

● **点数評価はやめろ！**

● **訓練途中の退席個人把握はやめろ！**